

日本植物病理学会報 第75巻

目次

会長講演

これまでの研究と植物病理学会に期待すること……………白石友紀……………141

学会賞受賞者講演

カンキツと *Alternaria* 属菌間の相互反応に関する分子生物学的研究……………秋光和也……………144

Pseudomonas syringae の鞭毛を介した植物相互作用の研究……………一瀬勇規……………147

植物病原糸状菌における種特異的寄生性の遺伝学的解析……………土佐幸雄……………150

学術奨励賞受賞者研究要旨

イネ白葉枯病菌の病原性に関する分子生物学的研究……………古谷綾子……………153

植物抵抗性誘導シグナルと宿主特異性に関する研究……………五味剣二……………154

ブドウ根頭がんしゅ病の診断と生物的防除および病原細菌の系統解析に関する研究……………川口 章……………155

総説

青枯病菌 *Ralstonia solanacearum* の分類の現状と課題……………堀田光生・土屋健一……………297

原 著

リンドウ褐斑病とその病原菌……………小林享夫・粕山新二・那須英夫・小野泰典・渡辺京子…………… 1

秋田県の山野におけるうどんこ病菌宿主植物・菌の分布と発病を助長する主要因としての土壌 Ca
……………内藤秀樹・菊地義人・三浦杏菜・富岡慎太郎・藤田 学・藤 晋一・古屋廣光・佐藤幸生…………… 9

東京都における *Oidium* 属 *Reticuloidium* 亜属菌によるキュウリうどんこ病の発生実態……………星 秀男・佐藤幸生・堀江博道…………… 21

赤かび病抵抗性の異なるコムギ2品種における赤かび病発生とデオキシニバレノール蓄積に及ぼす感染時期の影響
……………大場淳司・吉田重信・對馬誠也・生井恒雄…………… 93

日本のサツマイモから検出された *Sweet potato virus G* の同定……………山崎修一・酒井淳一・上曾山茂・花田 薫……………102

日本のサツマイモから検出された *Sweet potato feathery mottle virus common* 系統に属する分離株の諸特性
……………山崎修一・酒井淳一・上曾山茂・花田 薫……………156

種子の鉄コーティング処理によるイネ育苗期病害の防除……………井上博喜・山内 稔・宮川久義……………164

コムギ赤かび病自然発病圃場における発病穂の時空間分布……………大崎美由紀・富村 健太・浦野 知・吉田政博・中島 隆……………307

流行盛期のリンゴ斑点落葉病の発病程度に関するコホート内症例対照研究……………猫塚修一・羽田 厚・岩館康哉・石黒 潔……………314

短 報

タマネギ萎黄病, ミツバてんぐ巢病ファイトプラズマの非媒介昆虫ツマグロヨコバイ体内での動態
……………中島 智・西村典夫・鄭 熙英・柿澤茂行・藤澤一郎・難波成任・土崎常男…………… 29

新規クリニウイルスによるメロン退緑黄化病(新称)の発生
……………行徳 裕・岡崎真一郎・古田明子・衛藤友紀・溝辺 真・久野公子・林田慎一・奥田 充……………109

Actinidia arguta リポキシゲナーゼ遺伝子 cDNA の単離
……………西村 聡・古閑篤史・衣川 勝・山崎祐未子・加藤 寛・片岡郁雄・五味剣二・秋光和也……………112

サツマイモ斑紋モザイクウイルス弱毒株によるサツマイモの加工適性の向上
……………山崎修一・廣瀬正純・米元俊一・樋田宣英・上曾山茂・酒井淳一・花田 薫……………323

ダイズ子実汚斑病菌の感染がダイズの子実生長に及ぼす影響……………木村重光・徳丸 晋・久下一彦……………328

病 害 短 信

Colletotrichum gloeosporioides Penzig (Penzig) & Saccardo によるヤエヤマアオキ炭疽病(新称)
……………田場 聡・那須奏美・宮平奈央・澤岨哲也・諸見里善一…………… 35

Rhizoctonia solani 菌糸融合群 AG-1 亜群 IB によるオミナエシの苗立枯病(新称)……………窪田昌春・富岡啓介・佐藤豊三……………116

Colletotrichum acutatum によるハグマノキ炭疽病(病原追加)およびストック花枯炭疽病(新称)
……………菅原 敬・松館綾子・伊藤陽子・生井恒雄……………119

Rhizoctonia solani 菌糸融合群 AG-2-1 によるナバナ立枯病(新称)……………窪田昌春・東 貴彦・西 和文……………170

Erwinia carotovora subsp. *carotovora* によるニガウリ軟腐病の発生
……………久保 花・兼橋和央・篠原弘亮・根岸寛光・松山宣明・陶山一雄……………173

講 演 要 旨

平成20年度地域部会講演要旨

九州部会 2008年11月5日～6日 長崎市…………… 38

関東部会 2008年9月13日～14日 藤沢市…………… 46

東北部会 2008年9月25日～26日 盛岡市…………… 57

関西部会 2008年9月18日～19日 和歌山市…………… 64

北海道部会 2008年10月16日～17日 札幌市…………… 85

平成21年度日本植物病理学会大会講演要旨	176
本会記事	91, 123, 332
学会ニュース	第1, 2, 3, 4号
第75巻総目次	第4号
INDEX	第4号